

製品名: クローディン 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87460**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:23 kDa; Observed MW:18 kDa

抗原情報

遺伝子名	Claudin 1
別名	CLD1; SEMP1; ILVASC
遺伝子 ID	9076
SwissProt ID	O95832
免疫原	ヒトクローディン 1 の合成ペプチド

背景

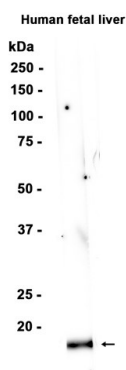
タイトジャンクションは、上皮細胞シートまたは内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシール

を形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのタイトジャンクションは、外側を向いた細胞質リーフレットに連続したネットワーク鎖の集合体と、内側を向いた細胞質外リーフレットに相補的な溝で構成されています。クローディングファミリーに属するこの遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。機能喪失変異は新生児魚鱗癬・硬化性胆管炎症候群を引き起こします。[RefSeq 提供、2008年7月]

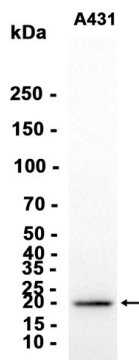
研究分野

-

画像データ



Claudin 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe87460 を 1:1000 で使用して A431 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。